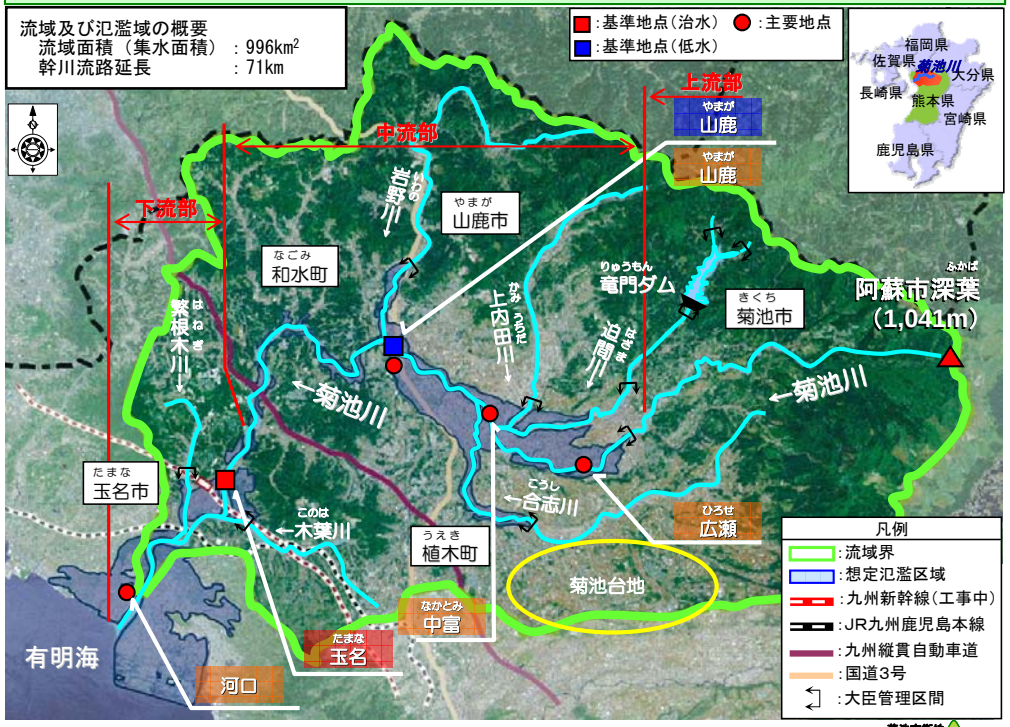
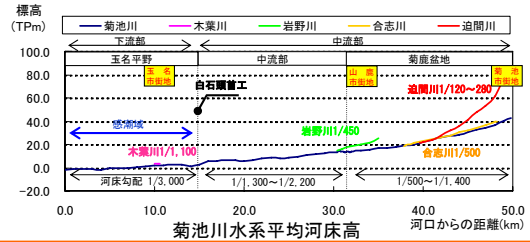
菊池川水系河川整備基本方針の概要

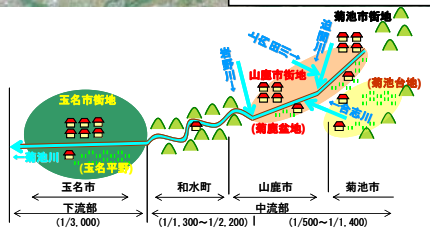
流域及び河川の概要

■ 玉名、山鹿、菊池市街地に人口資産が集中し、ひとたび氾濫すると甚大な被害が発生。特に山鹿市街地では、急勾配の支川が集まり洪水氾濫が発生しやすい。
■ 流域南部には菊池台地が広がり、阿蘇火砕流堆積物に起因する段丘堆積物が堆積しており、水源に乏しい
■ 中流部は、瀬・淵が連続し、瀬はアユの産卵場として利用されているとともに、国指定天然記念物「チスジノリの発生地」が存在





菊池川水系平均河床高



氾濫域のイメージ

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

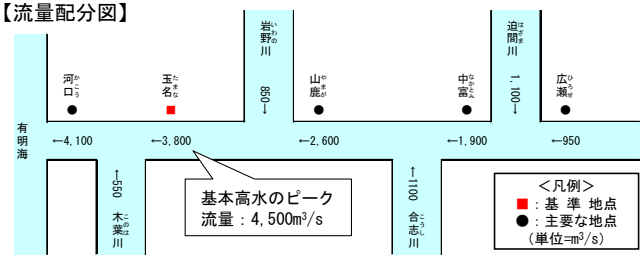
■ 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
■ 山鹿地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、かんがい期で概ね１６m³/s、非かんがい期で概ね８m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利用、河川環境の保全等に資するものとする

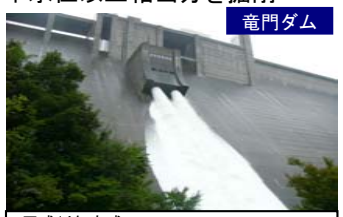
災害の発生の防止又は軽減

■ 工事実施基本計画改定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、雨量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を基準地点玉名で4,500m³/sと設定

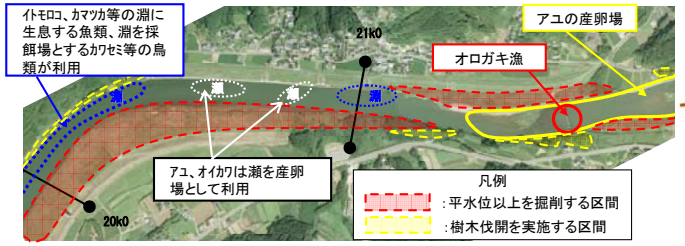
● 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既設洪水調節施設及び洪水調節施設の整備により対応
● 菊鹿盆地に主要な支川が集まり、洪水氾濫しやすいことに加え、玉名平野や菊鹿盆地等に人口資産が集積している状況等を踏まえ、それぞれの地域特性にあった治水対策を講じることにより、水系全体として本支川、上下流のバランス良く治水安全度を向上させる
● 豊かな河川環境等へ配慮するとともに、河道の安定を考慮し平水位以上相当分を掘削

【流量配分図】

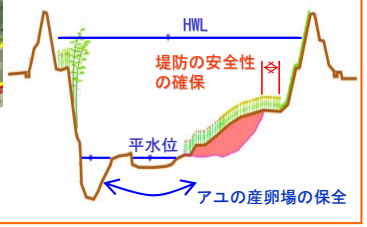




平成14年完成
目的：洪水調節、かんがい、工業用水
流水の正常な機能の維持
諸元：治水容量800万m3



河道断面のイメージ図



河川環境の整備と保全

瀬（アユの産卵場）

淵と山付き林

かつての砂浜の利用状況
（昭和30年頃）出典：ふるさと玉名写真集

■ アユの産卵場となる瀬、国の天然記念物に指定されている「菊池川のチスジノリ発生地」、淵と連続する河畔林等は可能な限り保全に努める
■ 下流部においては、現在の干潟環境に加え、かつての砂浜を復元し、ヤマトシジミ等も生息できる多様な環境への再生を図るとともに、砂浜へのアプローチなど今後の利活用の促進を図る
■ 河川と堤内地の水路等との間に段差が生じている箇所については、水域の縦横断的な連続性を確保しエコロジカルネットワークの形成に努める